LINEヤフー株式会社 決算説明会

2024年度 通期及び第4四半期 補足資料

2025年5月7日

証券コード：4689

LINEヤフー

目次

1 全社連結業績

2 セグメント別業績

3 非財務

目次 (詳細)

1. 全社連結業績

- 営業利益の増減分析.....4
- 調整後当期利益の増減分析.....5
- 調整後EPSの定義変更.....6, 7
- 調整後EPSの増減分析.....8
- 持分法による投資損益.....9
- 投資資産の公正市場価値.....10
- 子会社の連結影響 (PPA) 11
- 財務指標.....12, 13
- 主要な一時損益 (FY23Q1 - FY24Q4) 14, 15
- セキュリティ対策.....16

2. セグメント別業績

I. メディア事業

- 業績概況 (P/L).....19
- 検索広告.....20
- 主なサービス・商品.....21
- 主な広告商品 (LINE広告 / Yahoo!広告).....22, 23

II. コマース事業

- 業績概況 (P/L).....25
- 主なサービス・商品.....26
- 開示KPI: eコマース取扱高の定義.....27

III. 戦略事業

- 業績概況 (P/L).....29
- PayPay連結 業績.....30
- PayPay銀行 (株) 業績.....31
- 国内金融事業の資本構成.....32
- 主なサービス・商品.....33

IV. 海外事業

- 海外における事業展開.....35

3. 非財務

- 取締役体制および資本構成.....37
- 報酬ポリシーおよび役員報酬制度.....38

目次

1 全社連結業績

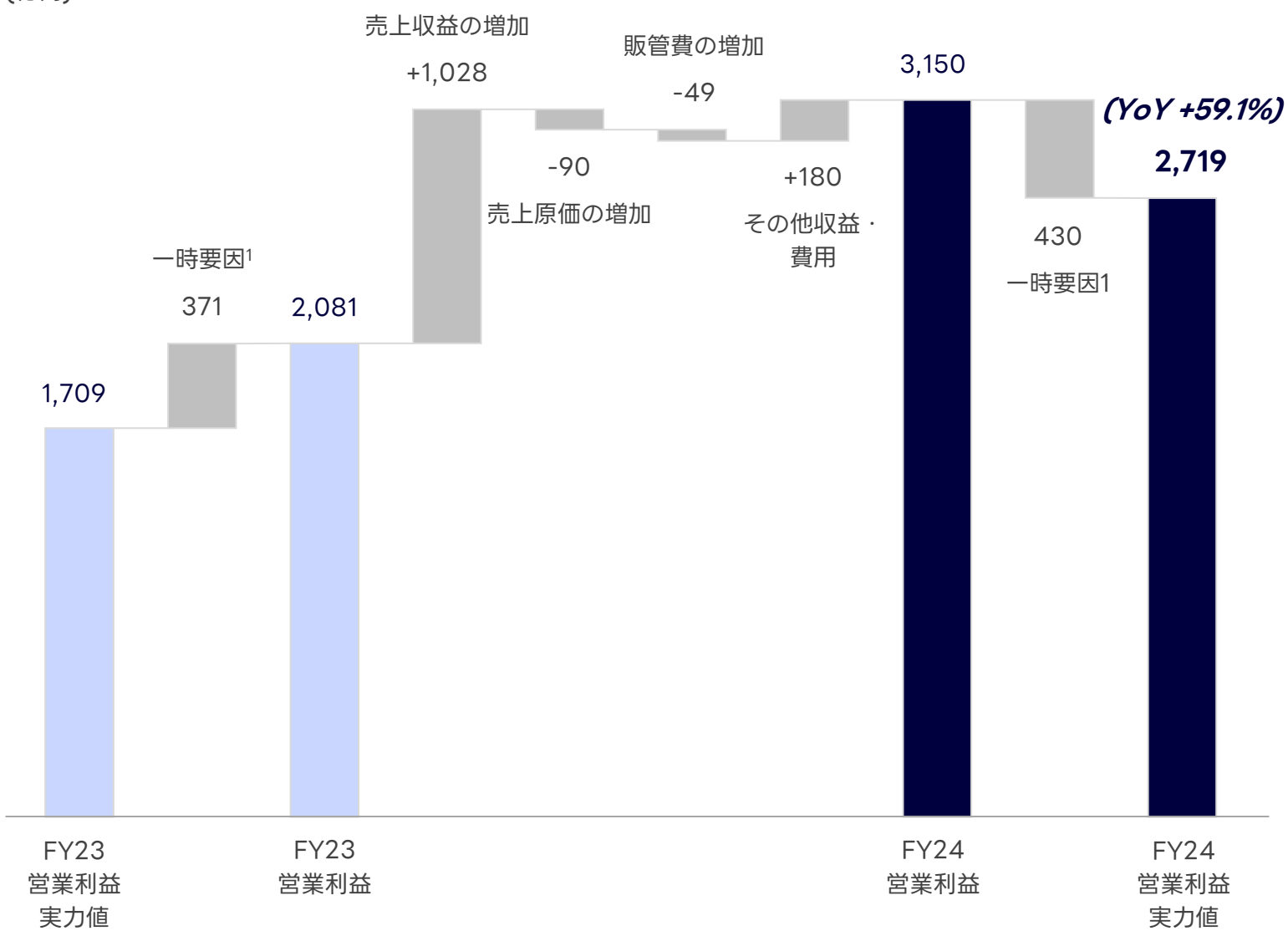
2 セグメント別業績

3 非財務

全社

営業利益の増減分析

(億円)



(億円)

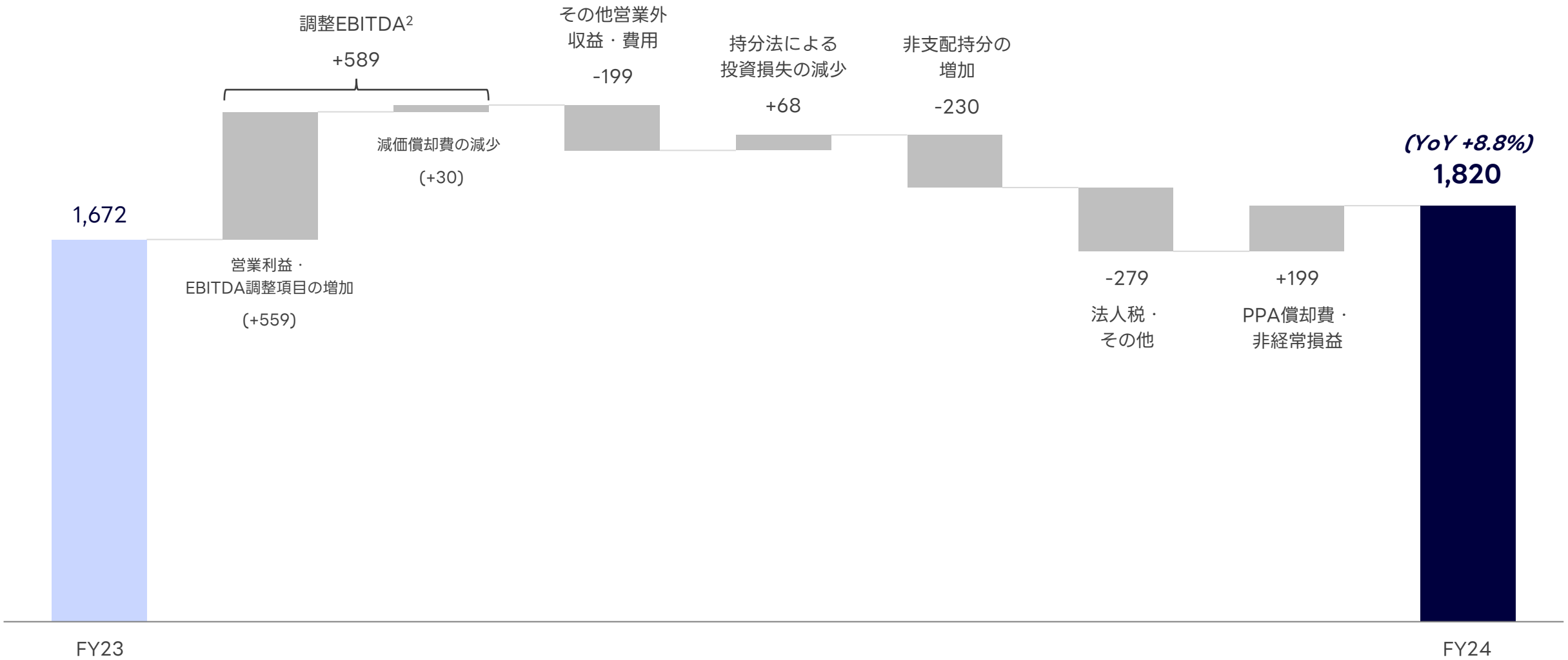
	FY23	FY24	YoY
売上収益	18,146	19,174	+1,028
売上原価	5,204	5,295	+90
販売費及び一般管理費	11,109	11,159	+49
その他収益・費用	249	430	+180
営業利益	**2,081**	**3,150**	**+1,068**
一時要因[1]	371	430	+58
営業利益 (実力値)	**1,709**	**2,719**	**+1,009**

1. P14~15に記載の営業利益に影響する一時損益

全社

調整後当期利益[1]の増減分析

(億円)



1. 調整後当期利益: 親会社の所有者に帰属する当期利益±EPS調整項目±EPS調整項目の一部に係る税金相当額。EPS調整項目: ±EBITDA調整項目+企業結合により生じた識別可能無形資産から生じる償却費±営業外損益項目における非経常損益
2. EBITDA調整項目: 営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益 (固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引 (一時的な引当金等) 等) 。また、一部ファンドの保有株式の売却損益

全社

調整後EPSの定義変更

過去のM&A影響を控除し、実力値を適切に示す目的で、調整後EPS定義を見直し

現定義

- 親会社の所有者に帰属する四半期利益
- ±
- EBITDA調整項目
- ±
- 調整項目の一部に係る税金相当額
- ÷
- 普通株式の期中平均株式数

新定義

- 親会社の所有者に帰属する四半期利益
- ±
- EBITDA調整項目
- ±
- 調整項目の一部に係る税金相当額
- ±
- PPA償却費
- ±
- 営業利益以下の非経常損益[1]
- ÷
- 普通株式の期中平均株式数

新調整項目

1. 同一取引が2四半期連続して生じない損益で、損益額が10億円以上のもの (詳細はデータシート上の「調整項目」シートを参照)

調整後EPSの定義変更 (続き)

過去のM&A影響を控除し、実力値を適切に示す目的で、調整後EPS定義を見直し

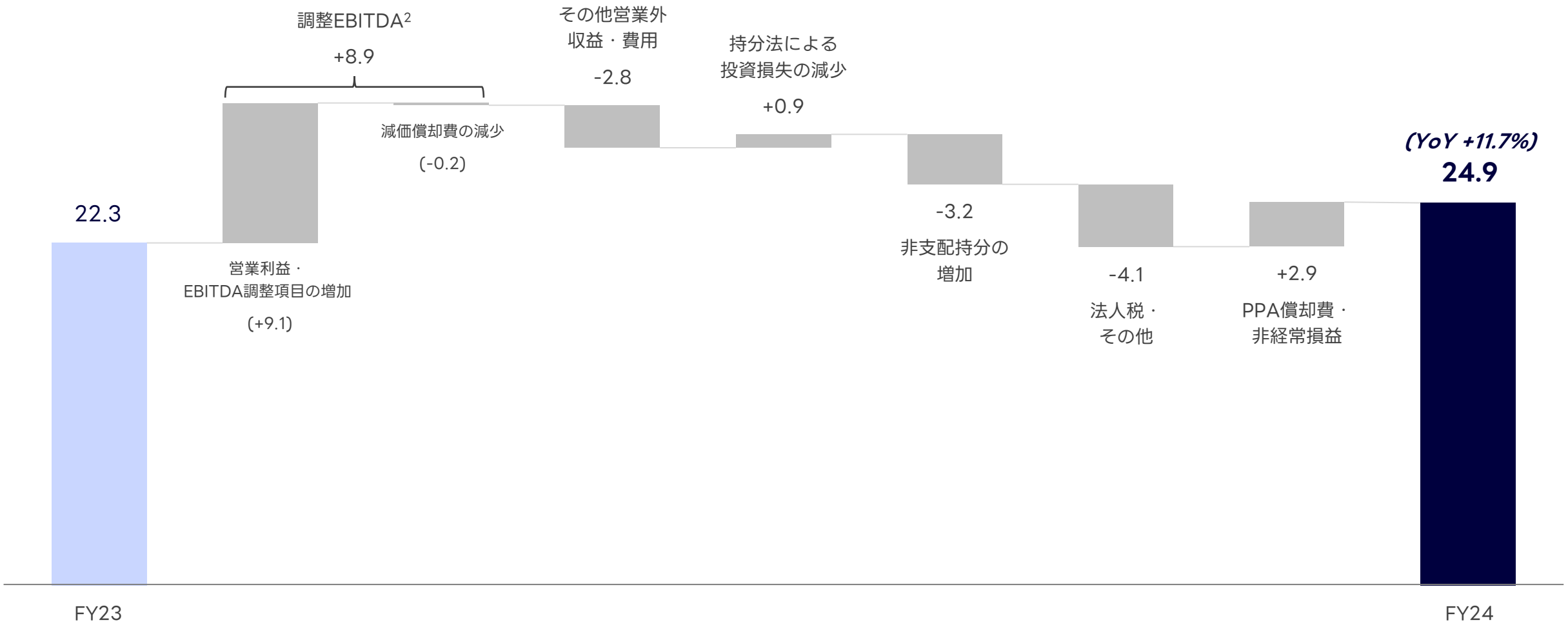
- 現定義・新定義 調整後EPS推移比較

(単位: 円)	FY21	FY22	FY23	FY24
現定義	10.8	5.4	18.9	19.6
新定義	11.6	10.7	22.3	24.9
差分	+0.8	+5.3	+3.4	+5.3

全社

調整後EPS[1]の増減分析

(円)



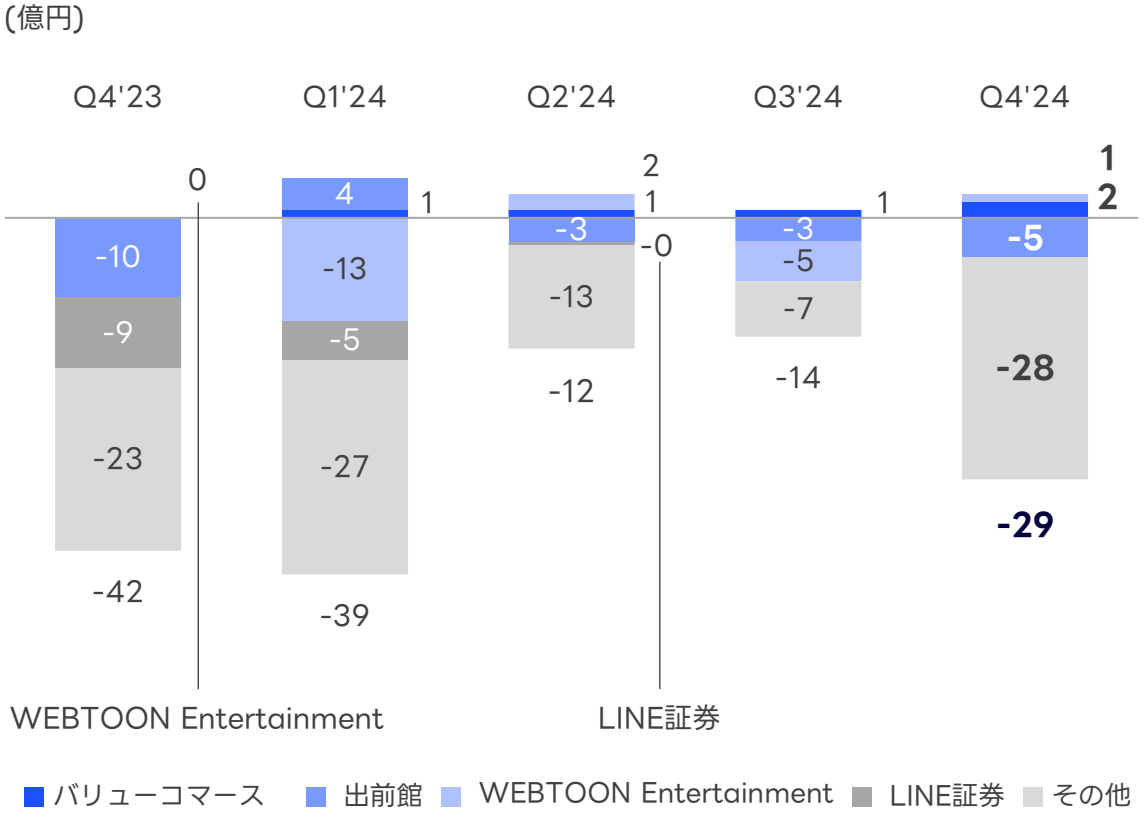
1. 調整後EPS: 調整後当期利益/普通株式の期中平均株式数。調整後当期利益: 親会社の所有者に帰属する当期利益±EPS調整項目±EPS調整項目の一部に係る税金相当額。EPS調整項目: ±EBITDA調整項目+企業結合により生じた識別可能無形資産から生じる償却費±営業外損益項目における非経常損益
2. 調整後EBITDA: 営業利益＋減価償却費及び償却費±EBITDA調整項目。減価償却費及び償却費: 減価償却費、使用権資産減価償却費、一部の賃借料。EBITDA調整項目: 営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益 (固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引 (一時的な引当金等) 等) 。また、一部ファンドの保有株式の売却損益

持分法による投資損益

2025年度を目途に持分法投資損益の黒字化を目指す

主要持分法適用関連会社	拠点	持分比率[1]	事業内容
コンテンツ			
WEBTOON Entertainment	米国	24.2%	• 電子マンガサービスの運営
コマース			
バリューコマース	日本	28.2%	• マーケティング・ECソリューションの提供
出前館	日本	37.1%	• 宅配・デリバリー専門サイトの運営
LINE MAN	タイ	42.7%	• 宅配・郵便・タクシー配車サービス等の展開
決済・金融			
Kashikorn LINE Company	タイ	50.0%	• インターネット専業銀行
LINE Bank Taiwan	台湾	49.9%	• インターネット専業銀行
PT. Bank KEB Hana Indonesia	インドネシア	20.0%	• インターネット専業銀行

持分法投資損益



1. 2025年3月末時点

投資資産の公正市場価値[1]

(億円)

会社名	公正市場価値	持分比率
ZOZO	6,652	51.5%
アスクル	671	46.5%
dely	226	56.3%
バリューコマース	79	28.2%
出前館	94	37.1%
Webtoon Entertainment	357	24.2%
LINE Pay Taiwan	1,121	58.1%
合計	9,203	-

1. 2025年3月末時点

全社

子会社の連結影響 (PPA)

ZOZO

項目	金額	年間償却額	償却期間(定額法)
取得原価配分 (PPA)	**5,021億円**	**132億円**	**-**
顧客基盤(ショップ・ユーザー)	3,220億円	-	18~25年
商標権[1]	1,787億円	-	非償却
その他[2]	14億円	-	4年

PayPay

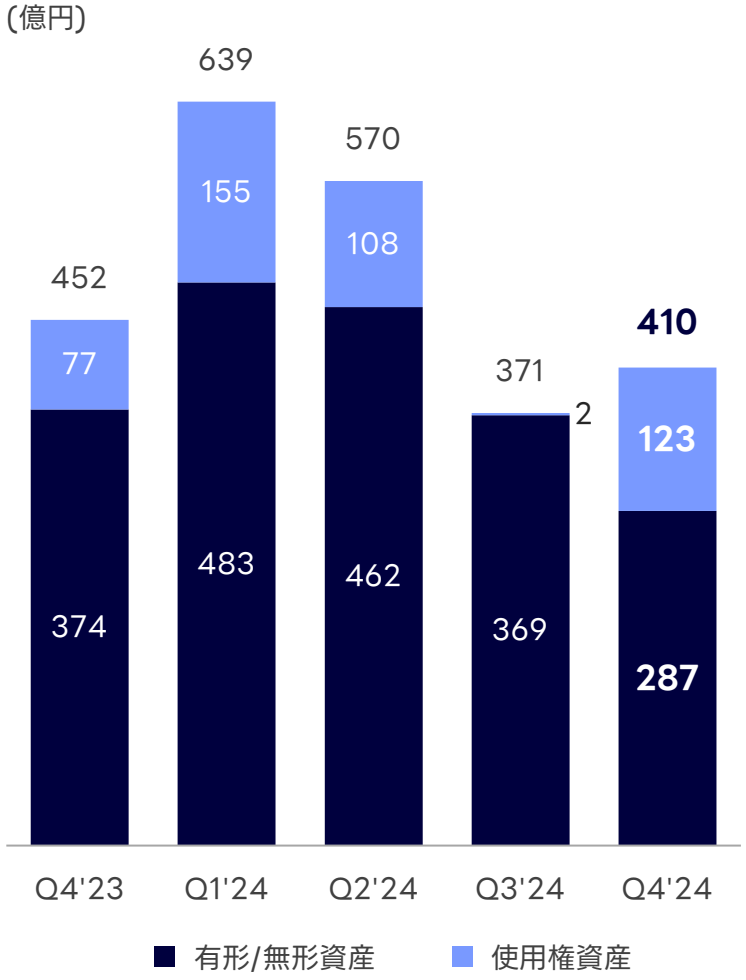
項目	金額	年間償却額	償却期間(定額法)
取得原価配分(PPA)	**513億円**	**51億円**	**-**
顧客関係 (加盟店等)	513億円	51億円	10年

1. 耐用年数を確定できない無形資産
2. FY23Q3で償却終了

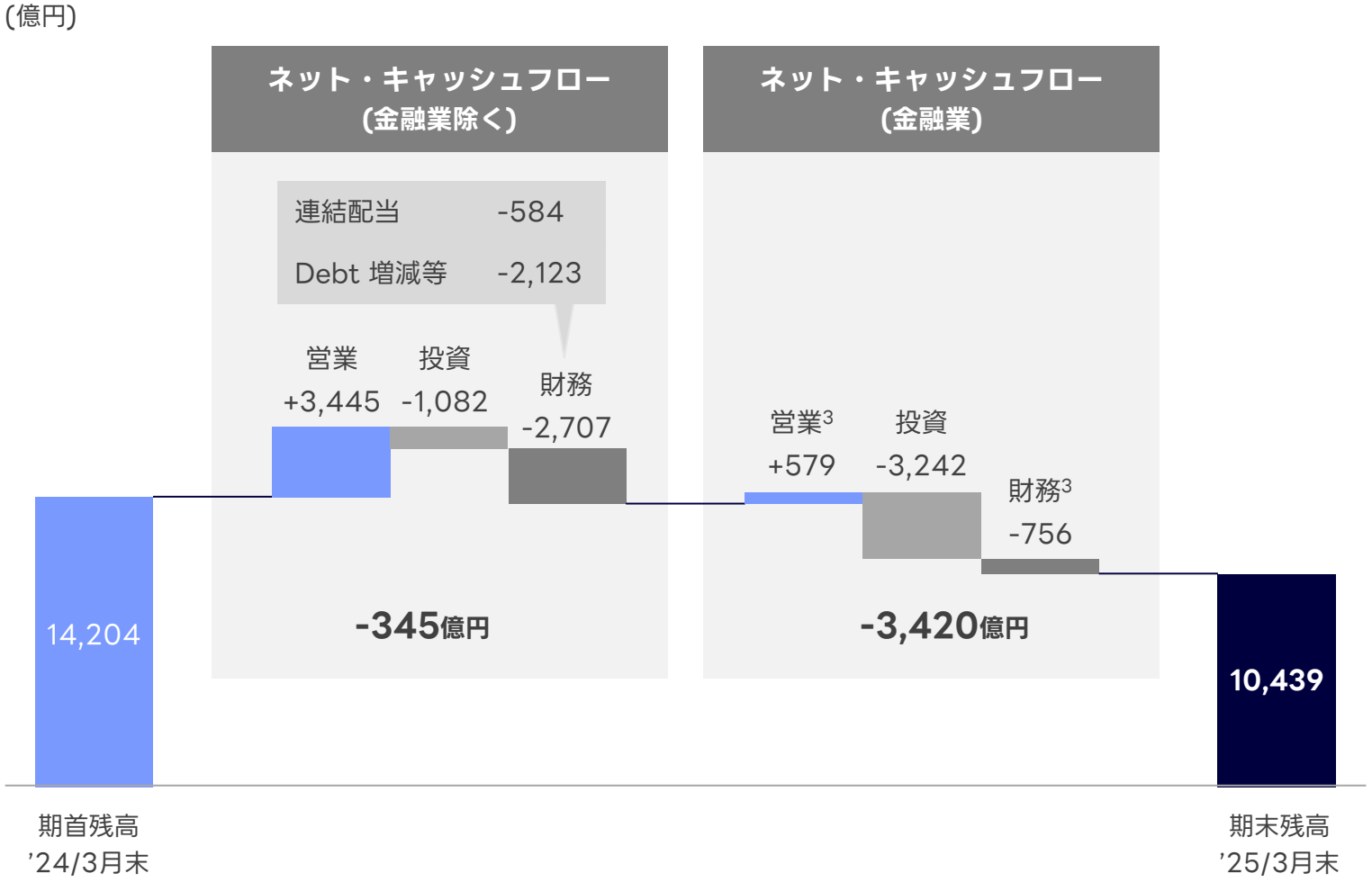
全社

財務指標

設備投資[1]



ネット・キャッシュフロー (金融業[2]除く・金融業) [1]



1. 値は百万円単位で端数切り捨ての上、億円単位で四捨五入
2. 金融業には、PayPay(株)、PayPayカード(株)のほか、PayPay銀行(株)、Zフィナンシャル(株)傘下の金融子会社、LINE Financial Plus Corporation傘下の金融子会社も含む
3. カード債権流動化の調整(財務CFから営業CFへの振替)、およびグループ内取引調整を含む

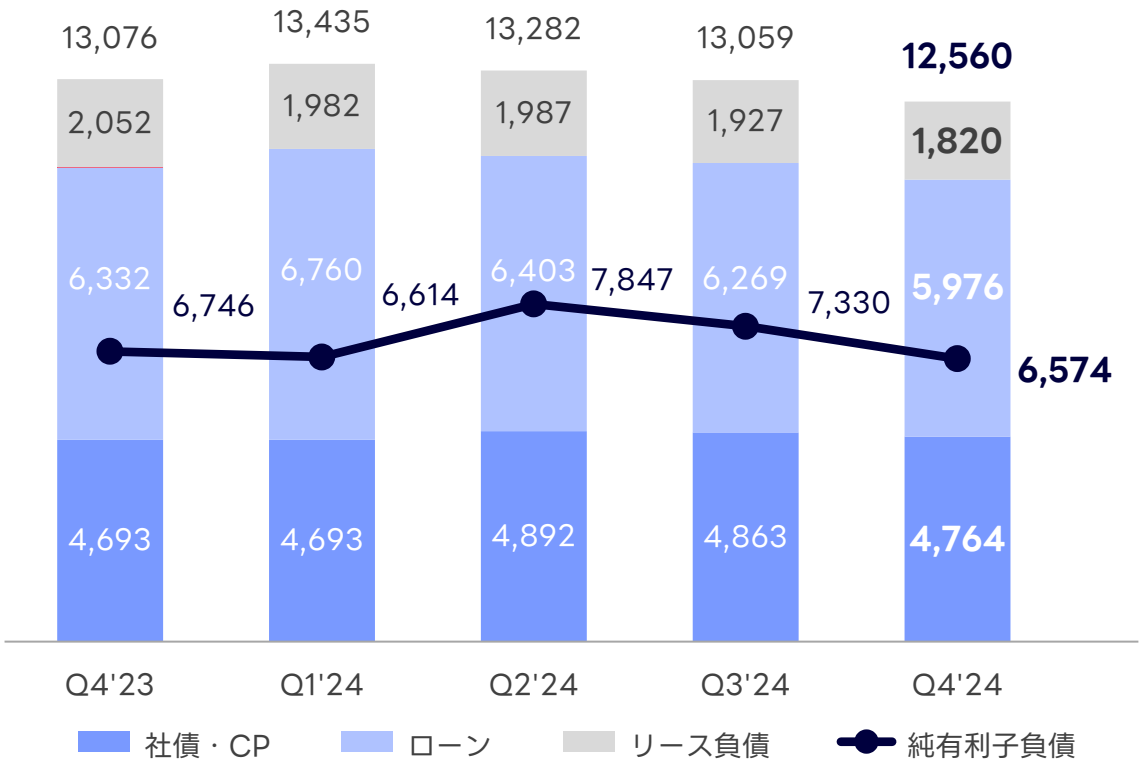
全社

財務指標

有利子負債・純有利子負債[1]

(金融業[2]除く)

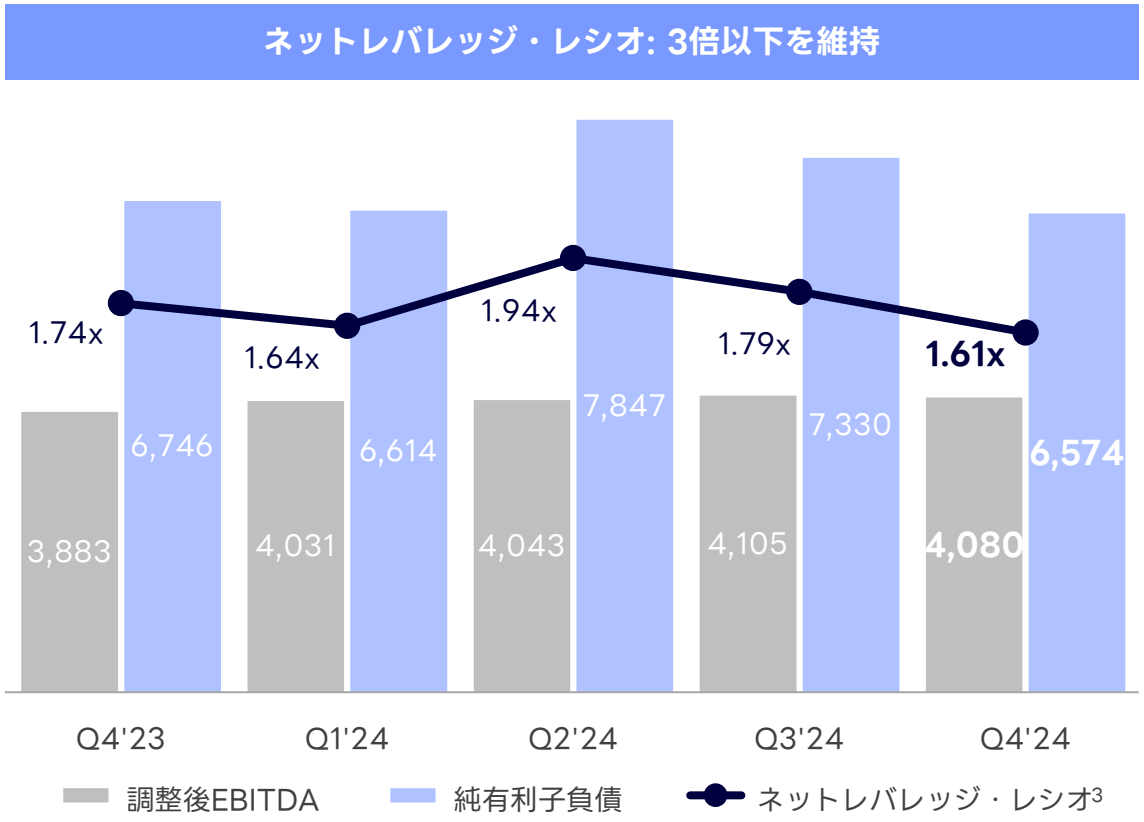
(億円)



ネットレバレッジ・レシオ[3]

(金融業[2]除く)

(億円)



1. 純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物。値は百万円単位で端数切り捨ての上、億円単位で四捨五入
2. 金融業には、PayPay(株)、PayPayカード(株)のほか、PayPay銀行(株)などのZフィナンシャル(株)傘下の金融子会社、LINE Financial Plus Corporation傘下の金融子会社も含む
3. ネットレバレッジ・レシオ = 純有利子負債 ÷ 調整後EBITDA (直近12ヵ月間の数値を使用)。値は百万円単位で端数切り捨ての上、億円単位で四捨五入

全社

主要な一時損益 (FY24Q1 - FY24Q4)

時期	一時損益	概要	金額 (億円)	科目	PL影響		
					営業利益	調整後EBITDA	調整後EPS
FY24 Q4	-	-	-	-	-	-	-
FY24 Q3	-	-	-	-	-	-	-
FY24 Q2	-	-	-	-	-	-	-
FY24 Q1	**子会社の支配喪失に伴う利益（IPX）**	LINE Friends事業を展開するIPX社が株主間契約の変更により非連結化されたことから計上された利益	227	コマースセグメント「その他収益及び費用」	○	-	-
	子会社の支配喪失に伴う利益/売却益（バリューコマース）	バリューコマース (株)の自己株式公開買付けへの応募に伴い、同社が持分法適用関連会社となったことから計上された利益	営業利益：69 調整後EBITDA：42	コマースセグメント「その他収益及び費用」	○	○	○
	子会社の支配喪失に伴う利益（LINE NEXT）	LINE NEXT (株)の増資に伴い、同社が持分法適用関連会社となったことから計上された利益	133	戦略セグメント「その他収益及び費用」	○	-	-
	オプション評価損	持分法適用関連会社の持分所有者の一部に付与している売建プットオプションについて、公正価値で測定したことによる損失	137	その他の営業外費用	-	-	○

注：科目は決算データシートの記載に依拠

全社

主要な一時損益 (FY23Q1 - FY23Q4)

時期	一時損益	概要	金額 (億円)	科目	PL影響		
					営業利益	調整後EBITDA	調整後EPS
FY23 Q4	**受取損害賠償金（ASKUL）**	「ASKUL Logi PARK首都圏」物流センター火災に係る損害賠償請求訴訟の判決確定に伴い認識した受取損害賠償金	94	コマースセグメント「その他収益及び費用」	○	○	○
	減損損失	検索エンジン内製化プロジェクトに関連した減損損失	122	戦略セグメント「その他販管費」	○	-	-
	持分法による投資の減損損失（出前館）	出前館 (株)に関連した減損損失	223	その他の営業外費用	-	-	○
FY23 Q3	**子会社の支配喪失に伴う利益（yutori）**	yutoriの新規上場に伴い、当社子会社に該当しないこととなったことから計上した利益	10	コマースセグメント「その他収益及び費用」	○	-	-
FY23 Q2	**子会社の支配喪失に伴う利益（JDW）**	台湾でLINEタクシー事業を展開するJDW社の株式を譲渡したことから計上した利益	40	コマースセグメント「その他収益及び費用」	○	-	-
FY23 Q1	**事業分離における移転利益（LINE AIカンパニー事業）**	LINE AIカンパニー事業をLINE WORKS (株) へ譲渡したことに伴い計上した利益	104	戦略セグメント「その他収益及び費用」	○	-	-
	持分変動利益（主にWEBTOON）	WEBTOON Entertainment Inc.に対する持分比率が変動したことに伴い計上した利益	191	その他の営業外収益	-	-	○

注：科目は決算データシートの記載に依拠

FY24のセキュリティ対策費用は計画水準で着地

セキュリティ対策費用

(億円)

	FY24			FY25
	金額	主な計上先	科目	金額
Q1	約30	戦略[1]	業務委託費・ライセンス料等	-
Q2	約40	調整額		
Q3	約40			
Q4	約40			
通期	約150	-		約100

1. FY24Q1決算時は戦略セグメントで計上したものの、FY24Q2決算で調整額への計上に修正

目次

1 全社連結業績

2 セグメント別業績

3 非財務

I. メディア事業

メディア事業

業績概況 (P/L)

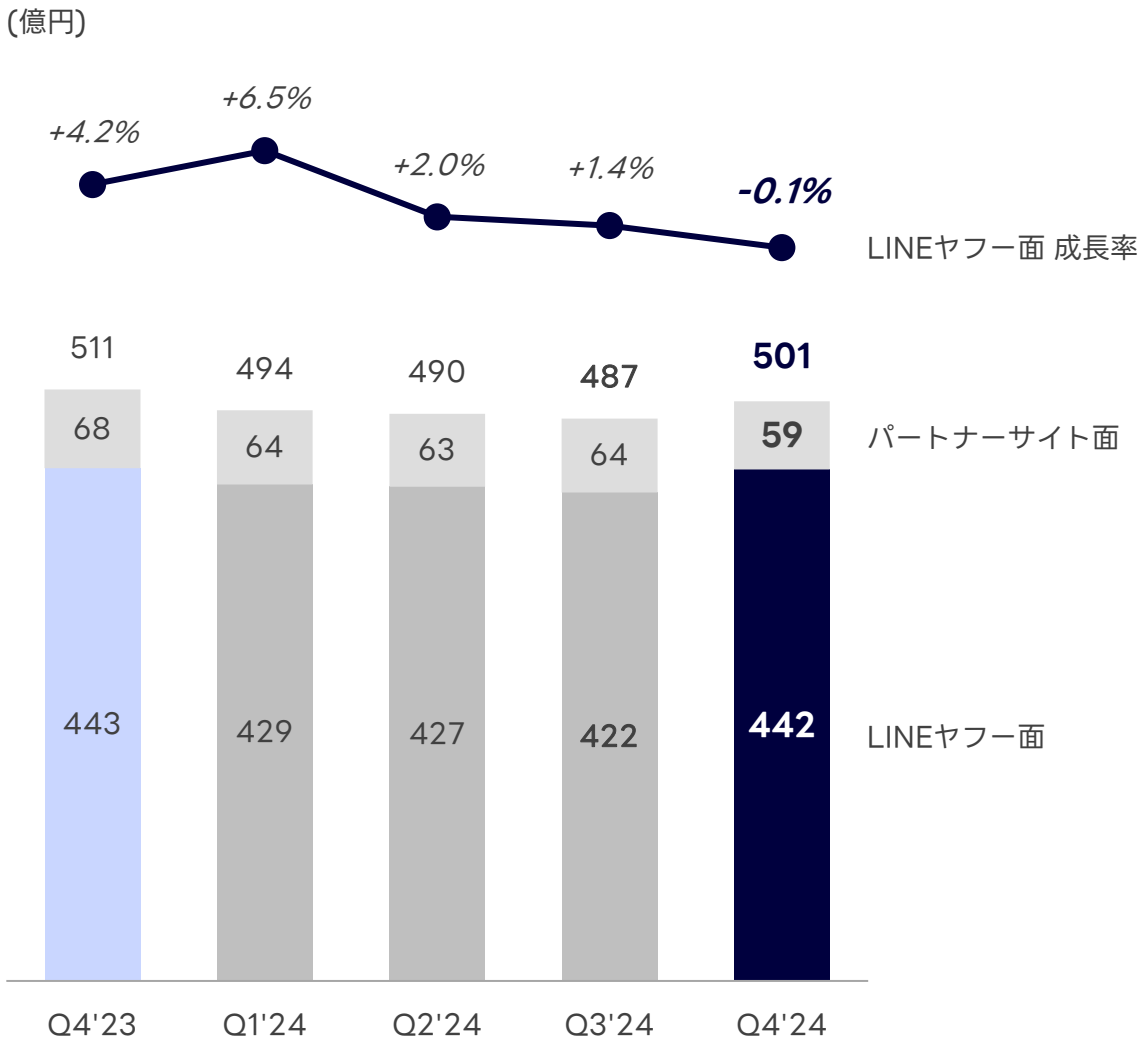
(百万円)

	FY2023 Q4[1]	FY2024 Q4[1]	YoY
売上収益	**179,488**	**187,951**	***+4.7%***
広告売上	**146,572**	**148,328**	***+1.2%***
検索広告	**51,659**	**50,839**	***-1.6%***
アカウント広告	**28,133**	**32,899**	***+16.9%***
ディスプレイ広告[2]	**66,778**	**64,588**	***-3.3%***
その他（バーティカル/エンタメ/デジコン/コミュニケーション等）	**32,916**	**39,623**	***+20.4%***
売上原価	**33,997**	**34,341**	***+1.0%***
販管費	**105,391**	**100,787**	***-4.4%***
販売促進費・広告宣伝費	15,341	13,331	*-13.1%*
その他販管費	90,049	87,456	*-2.9%*
その他収益及び費用	**-**	**-**	***N/A***
調整後EBITDA/マージン[3]	**57,403 (32.0%)**	**69,815 (37.1%)**	***+21.6%***

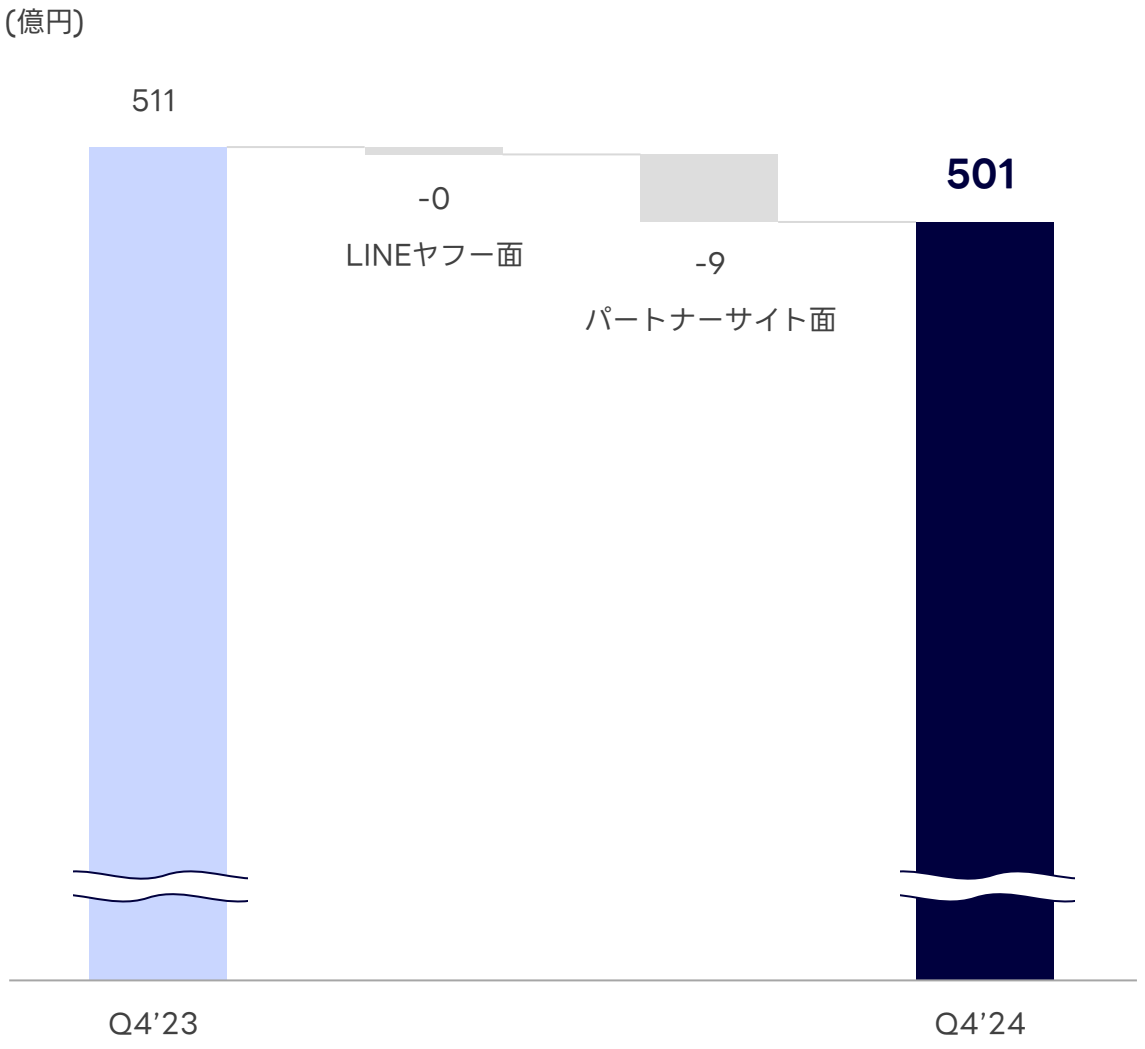
1. FY24Q3に、メディア事業に区分されていた一休.comレストラン、およびPayPayグルメのサービスをコマース事業に移管。これに伴いFY23、FY24Q1、Q2の業績を遡及修正
2. ショッピング関連広告売上収益、(株) ZOZOの広告売上収益は除く (当該の広告売上収益はコマース事業セグメントに計上)
3. 広告事業以外のその他メディア事業の売上収益を含む

検索広告

検索広告売上収益・成長率 (YoY)



検索広告売上収益 増減要因



主なサービス・商品

項目	内訳
検索広告	Yahoo!広告「検索広告」
アカウント広告	「LINE公式アカウント」、「LINEプロモーションスタンプ」、「LINEで応募」、「LINEチラシ」、その他
ディスプレイ広告	―
運用型広告	Yahoo!広告「ディスプレイ広告」(運用型) 、「LINE VOOM」、「LINE NEWS」、「トークリスト」、「Talk Head View」、「Talk Head View Custom」、その他
予約型広告	Yahoo!広告「ディスプレイ広告」(予約型) 等
その他LINE広告	「LINEバイト」、その他
その他	「LINEスタンプ」、「LINE GAME」、「LINE占い」、「LINE MUSIC」、「LINEマンガ」、「LINE Search」、「LYPプレミアム」、「ebookjapan」、不動産関連、「Yahoo!メール」、その他

主な広告商品 (LINE広告)

項目	主な課金方法	掲載場所/商品概要	広告主タイプ
アカウント広告	ー		
LINE公式アカウント	月額固定費用・従量課金	友だち追加したユーザーへのメッセージ配信	大手・中小企業、自治体
LINEプロモーションスタンプ	定額料金・従量課金	企業のプロモーションとして利用可能な ユーザー向けの無料スタンプ	大手・中小企業、自治体
LINEで応募	基本費用・追加オプション費用	LINEを活用した店頭販促ソリューション	大手・中小企業
ディスプレイ広告	ー		
LINE VOOM	クリック課金・表示課金	「LINE VOOM」タブ	大手・中小企業
LINE NEWS	クリック課金・表示課金	「ニュース」タブ	大手・中小企業
トークリスト	クリック課金・表示課金	「トークリスト」最上部	大手・中小企業
Talk Head View (予約型)	期間保証型課金	「トークリスト」最上部に動画広告を配信	大手企業、自治体
Talk Head View Custom (運用型)	表示課金	「トークリスト」最上部に動画広告を配信	大手企業、自治体

主な広告商品 (Yahoo!広告)

項目	主な課金方法	掲載場所	広告主タイプ
検索広告	クリック課金・成果報酬型課金	検索結果ページ	大手・中小企業
ディスプレイ広告	―		
運用型	―		
Yahoo!広告 「ディスプレイ広告」(運用型)	クリック課金 視聴課金	トップページ コンテンツページ パートナーサイト	大手・中小企業
ショッピング広告 (運用型)	コンバージョン課金	「Yahoo!ショッピング」	「Yahoo!ショッピング」出店ストア
予約型	―		
Yahoo!広告 「ディスプレイ広告」(予約型)	ビューアブルインプレッション課金 期間保証型課金等	トップページ コンテンツページ	大手企業、自治体
ショッピング広告 (予約型)	期間保証型課金等	「Yahoo!ショッピング」	「Yahoo!ショッピング」出店ストア

II. コマース事業

コマース事業

業績概況(P/L)

(百万円)

	FY2023 Q4[1]	FY2024 Q4[1]	YoY
売上収益	**211,276**	**212,061**	***+0.4%***
LINEヤフー	**38,595**	**40,893**	***+6.0%***
ショッピング事業	20,424	19,880	*-2.7%*
リユース事業	9,995	10,747	*+7.5%*
サービスEC事業	7,910	9,888	*+25.0%*
その他	265	378	*+42.7%*
ZOZO、アスクル[2]	**172,680**	**171,168**	***-0.9%***
売上原価	**98,557**	**95,321**	***-3.3%***
販管費	**99,003**	**103,940**	***+5.0%***
販売促進費・広告宣伝費	19,814	23,735	*+19.8%*
その他販管費	79,188	80,204	*+1.3%*
その他収益及び費用	**9,426**	**-**	***N/A***
調整後EBITDA/マージン	**40,836 (19.3%)**	**30,355 (14.3%)**	***-25.7%***

1. FY24Q3に、メディア事業に区分されていた一休.comレストラン、およびPayPayグルメのサービスをコマース事業に移管。これに伴いFY23、FY24Q1、Q2の業績を遡及修正
2. 当社子会社であるZホールディングス中間 (株) は、バリューコマース (株) が2024年3月12日~4月9日まで実施した自己株式の公開買付けに応募し、当該公開買付けが成立。バリューコマース (株) は2024年5月2日に当社の持分法適用関連会社へ移行したことから、以降、バリューコマース (株) のサービスを含まない

主なサービス・商品

項目	内訳
LINEヤフー	―
ショッピング事業	「Yahoo!ショッピング」、「LINEブランドカタログ[1]」、「LINE FRIENDS」、「LINEギフト」、「Yahoo!クイックマート[2]」、海外EC (「LINE SHOPPING (台湾・タイ)」、「GIFTSHOP」、「MyShop」、その他)
リユース事業	「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」
サービスEC事業	「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「LINEトラベル (台湾)」、その他
その他	その他
ZOZO、アスクル	―
ZOZO	「ZOZOTOWN」、「ZOZOUSED」、その他
アスクル	アスクルBtoB事業 (「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」、その他) 、「LOHACO」、「チャーム」、その他
その他	その他

1. 「LINEショッピング」は2024年8月20日から「LINEブランドカタログ」にサービス名称を変更
2. 2024年8月13日から「Yahoo!クイックマート」のサービスを開始

開示KPI: eコマース取扱高の定義

項目	主なサービス・商品
eコマース取扱高	–
国内物販系取扱高	–
ショッピング事業	「Yahoo!ショッピング」、「ZOZOTOWN」、「LOHACO」、「チャーム」、「LINEブランドカタログ[1]」、「LINEギフト」、「LINE FRIENDS」、「Yahoo!クイックマート[2]」
リユース事業	「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」、「ZOZOUSED」
アスクルBtoB事業 (インターネット経由)	「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」等
国内サービス系取扱高	「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「出前館」
国内デジタル系取扱高[3]	「ebookjapan」、「LINEマンガ」、「LINE MUSIC」、「LINEスタンプ」、「LINE GAME」、「LINE占い」、その他有料デジタルコンテンツ
海外EC取扱高	「LINE SHOPPING (台湾・タイ) 」、「GIFTSHOP」、「MyShop」、「ZOZOFIT」、「LINE FRIENDS」、「LINEトラベル」、「LINE MAN」、「LINEスタンプ[3]」、「LINE GAME[3]」、「DOSI[4]」

1. 「LINEショッピング」は2024年8月20日から「LINEブランドカタログ」にサービス名称を変更
2. 2024年8月13日から「Yahoo!クイックマート」のサービスを開始
3. 当該サービスの収益は、メディア事業セグメントに計上
4. グローバルNFTプラットフォーム。当該サービスの収益は、戦略事業セグメントに計上

III. 戦略事業

業績概況(P/L)

(百万円)

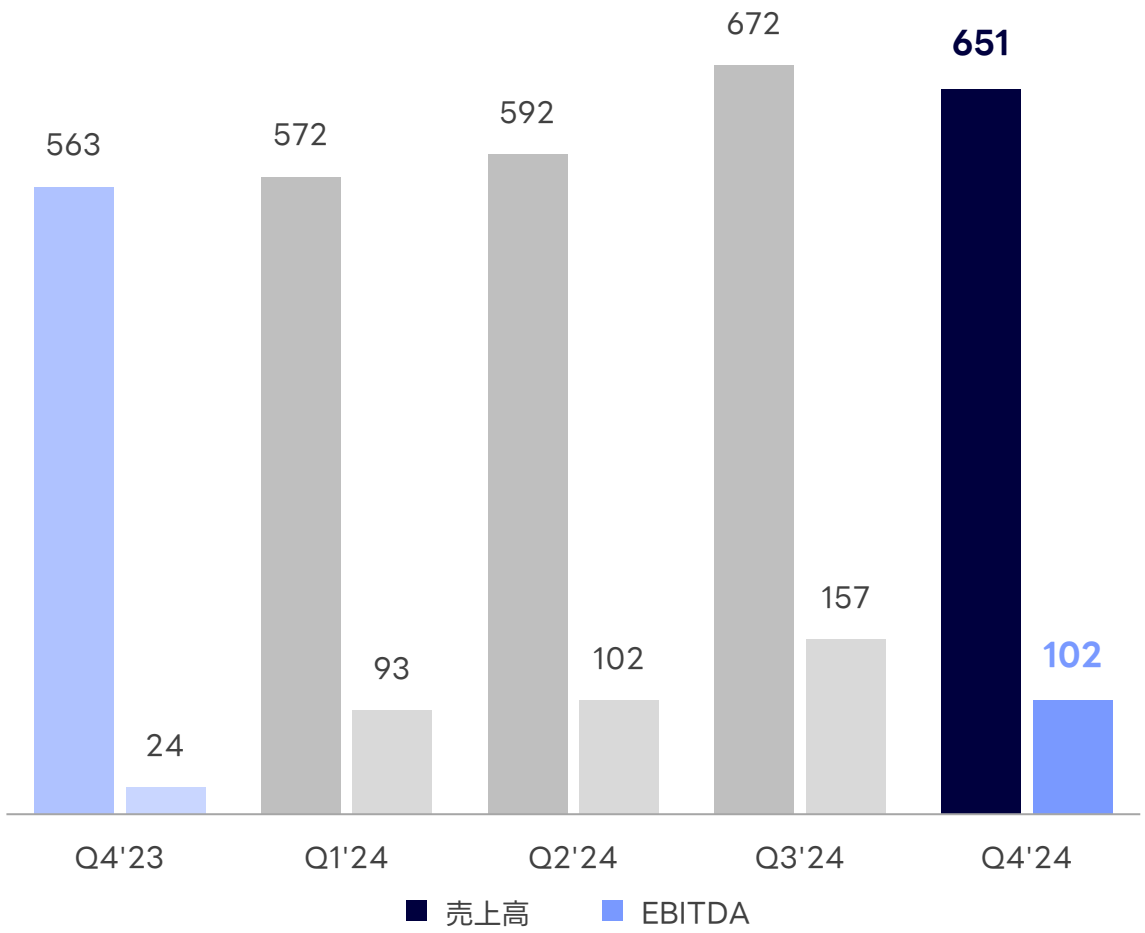
	FY2023 Q4	FY2024 Q4	YoY
売上収益	**78,342**	**89,677**	***+14.5%***
Fintech	**78,016**	**89,652**	***+14.9%***
PayPay連結[1]	55,582	64,536	*+16.1%*
PayPay銀行[2]	11,628	13,828	*+18.9%*
その他金融 (LINE Fintech等)	10,805	11,287	*+4.5%*
その他戦略事業	**325**	**24**	***-92.6%***
売上原価	**4,321**	**5,510**	***+27.5%***
販管費	**95,105**	**79,600**	***-16.3%***
販売促進費・広告宣伝費	16,073	17,064	*+6.2%*
その他販管費	79,031	62,536	*-20.9%*
その他収益及び費用	**-**	**-**	***N/A***
調整後EBITDA/マージン	**3,668 (4.7%)**	**12,042 (13.4%)**	***+228.3%***

1. PayPay (株) 、PayPayカード (株)、クレジットエンジン (株) の連結数値。会社間の内部取引消去後の数値。当社にて関連するIFRS調整を行い独自に算出
2. 当社にて日本基準単体数値から関連するIFRS調整を行い独自に算出

PayPay連結[1] 業績

連結 売上高[2]・EBITDA[3] (IFRS基準)

(億円)



連結 財政状態計算書 (IFRS基準)

(億円)

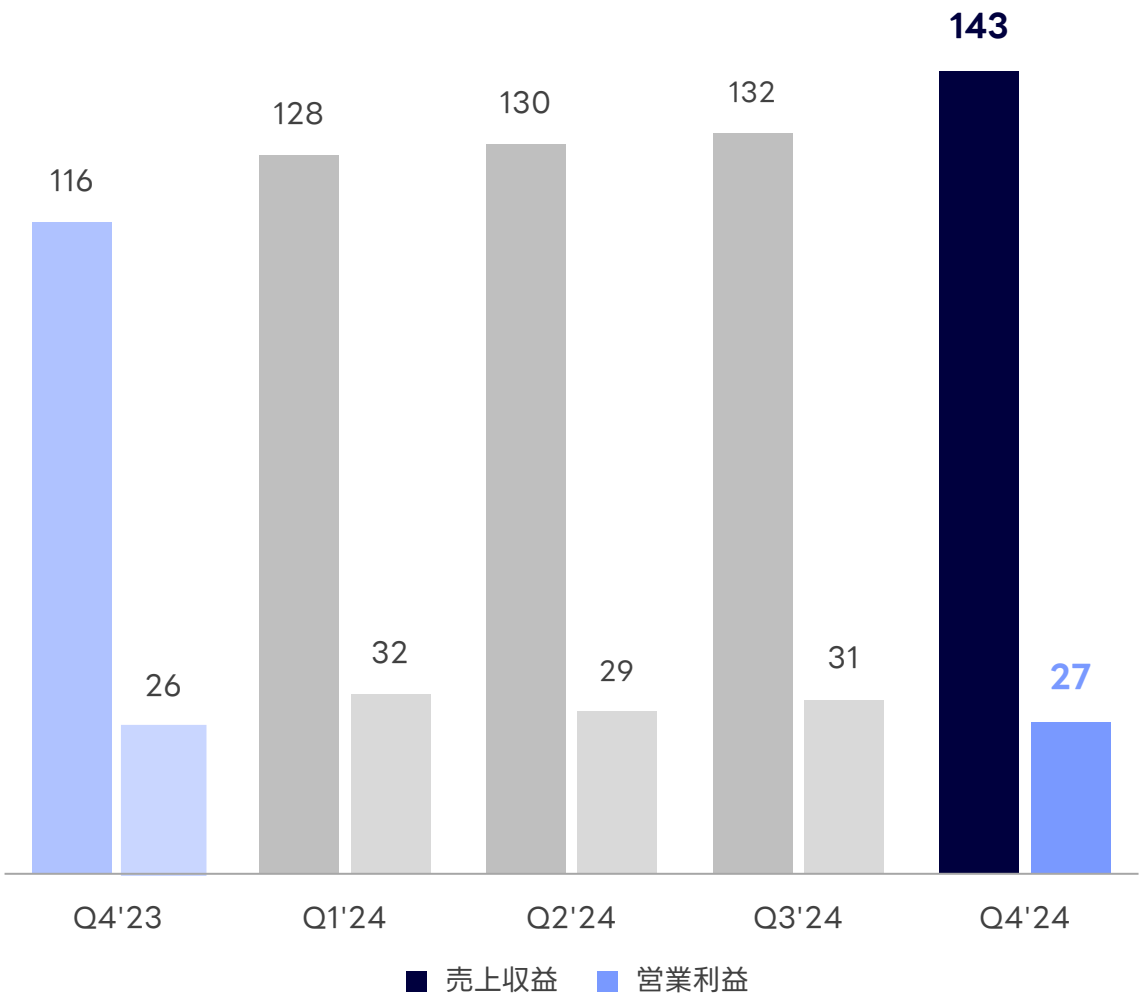
	FY2024 Q3	FY2024 Q4	差額
資産	**19,856**	**17,913**	**-1,943**
現金及び預金	3,557	2,091	-1,465
その他資産	16,299	15,821	-477
負債	**19,061**	**17,015**	**-2,045**
有利子負債	4,183	3,088	-1,095
その他負債	14,878	13,927	-950
純資産	**795**	**897**	**+102**

1. PayPay (株) 、PayPayカード (株)、クレジットエンジン (株) の連結数値
2. IFRS。非監査
3. EBITDAは営業利益に減価償却費および固定資産除却損を足して算出、IFRS。非監査

PayPay銀行 (株) 業績

売上収益・営業利益 (IFRS単体) [1]

(億円)



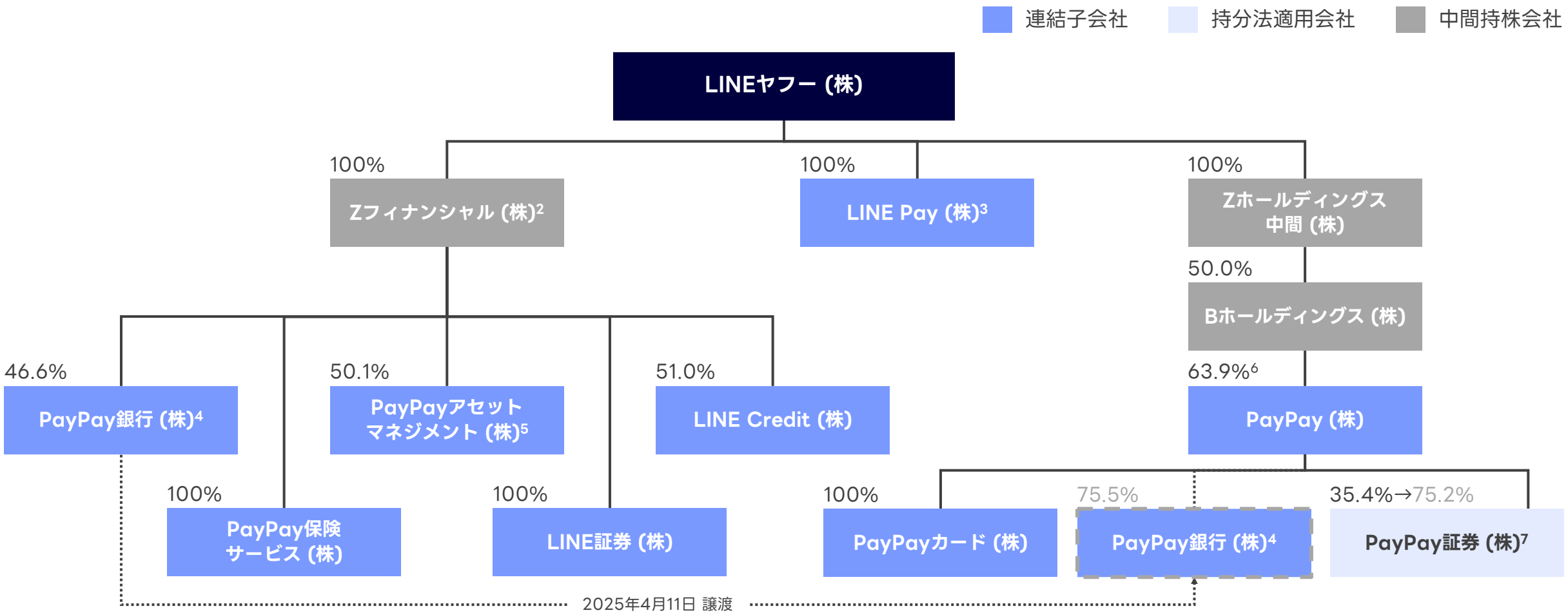
財政状態計算書 (日本基準) [1]

(億円)

	FY2024 Q3	FY2024 Q4	差額
資 産	**23,455**	**21,787**	**-1,667**
現金・現金同等物	4,929	2,239	-2,690
営業債権・その他債権	247	228	-19
銀行事業の有価証券	8,620	9,088	+468
有形固定資産	22	32	+9
無形資産	116	121	+4
負 債	**22,080**	**20,412**	**-1,667**
営業債務・その他債務	185	159	-25
銀行事業の預金	20,792	19,122	-1,670
有利子負債	1,019	1,019	-
資 本	**1,374**	**1,375**	**+0**

1. LINEヤフーグループ内の内部取引消去前の数値。売上収益・営業利益は、日本基準の単体数値から、関連するIFRS調整を行い独自に算出

国内金融事業の資本構成[1]



1. 2025年3月末時点の議決権所有割合
2. LINEヤフー (株) を吸収合併存続会社、Zフィナンシャル (株) を吸収合併消滅会社とする吸収合併を実施予定
3. 日本における「LINE Pay」のサービスは2025年4月30日に終了
4. 2025年4月11日に、Zフィナンシャル (株) が保有するPayPay銀行 (株) の普通株式およびA種優先株式をPayPay (株) に譲渡。A種優先株式の普通株式転換後のPayPay (株) によるPayPay銀行 (株) の議決権所有割合は75.5%を予定
5. 2025年9月末を目途に事業を終了予定
6. Bホールディングス (株) 保有分の57.9%とLINEヤフー (株) 保有分の5.9%を合算
7. PayPay (株) は、ソフトバンク (株) およびLINEヤフー (株) からPayPay証券 (株) の株式を譲り受けるとともに、PayPay証券 (株) が実施する第三者割当増資を引き受け。2025年4月1日時点の持株比率は75.2%

主なサービス・商品

項目	内訳
Fintech	ー
PayPay連結	PayPay、PayPayカード、クレジットエンジン[1]
PayPay銀行	ー
その他金融	PayPayアセットマネジメント[2]、「PayPayほけん」、「LINE Pay[3]」、「LINEスコア」、「LINEポケットマネー」、「LINE BITMAX」、「LINE FX」、「DOSI」、その他
その他	その他

1. 2025年4月1日付でクレジットエンジン株式会社に社名変更
2. 2025年9月末を目途に事業を終了予定
3. 日本における「LINE Pay」のサービスは2025年4月30日に終了

Ⅳ. 海外事業

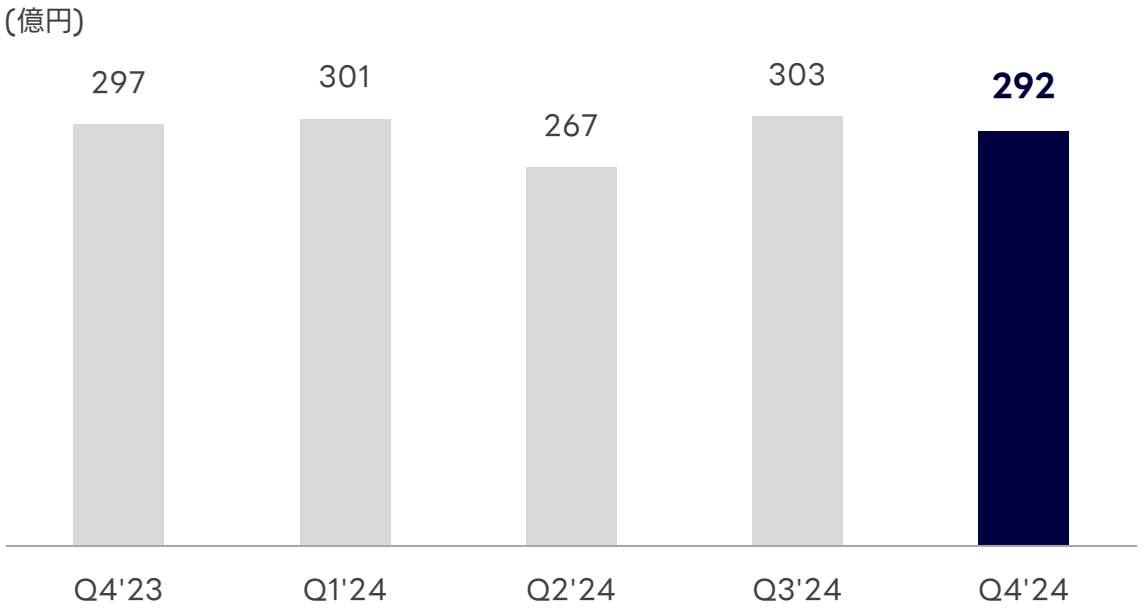
海外における事業展開

LINE

台湾、タイを中心としたアジア諸国・地域において、圧倒的なリーチとシェア
メッセンジャーを基盤とした広告、スタンプ、ゲーム事業を中心に収益を創出

台湾	2,200万 MAU[1,3] (人口：2,337万人[2])	LINE Pay　LINE TODAY 市場シェアNo.1[6]
タイ	5,400万 MAU[1,3] (人口：6,605万人[4])	LINE BK　LINE TODAY 市場シェアNo.1[6]
インドネシア	500万 MAU[1,3] (人口：2億8,160万人[5])	LINE Bank by Hana Bank　LINE SPLITBILL

海外事業売上収益[7]



1. 2025年3月末時点
2. 2025年3月末時点の人口。内務省の公表データより引用
3. iOSとAndroid端末におけるLINEの利用者数から、同じ電話番号で認証された別の端末の利用者数等を除いた数値
4. 2023年の人口。内務省の公表データより引用
5. 2024年6月末時点の人口。内務省の公表データより引用
6. 台湾、タイのデータは各国および地域における2023年の市場調査データに基づく
7. 現地決算数値を期首からの平均為替レートにて円換算

目次

1 全社連結業績

2 セグメント別業績

3 非財務

非財務

取締役体制および資本構成

第29回定時株主総会で可決され、独立社外取締役比率 66.6%
親会社は、ソフトバンクとNAVERのJVであるAホールディングス

取締役体制

川邊 健太郎
代表取締役会長

出澤 剛
代表取締役社長 CEO

社外取締役 (独立役員) 常勤監査等委員	臼見 好生
社外取締役 (独立役員) 監査等委員	蓮見 麻衣子
社外取締役 (独立役員) 監査等委員	國廣 正
社外取締役 (独立役員) 監査等委員	髙橋 祐子

資本構成

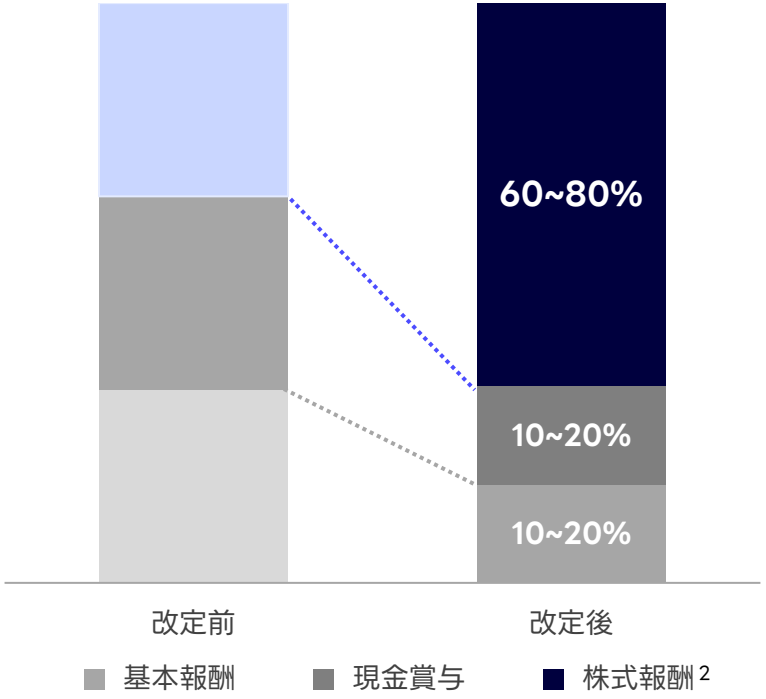
1. 議決権比率

非財務

報酬ポリシーおよび役員報酬制度

役員報酬制度は中長期インセンティブとしての株式報酬比率を高く設定
株主との利害共有意識 (セイム・ボート) を醸成し、持続的な成長を通じた企業価値の向上を目指す

取締役報酬制度の改定[1]



	報酬形態	報酬割合	目的・位置づけ
株式報酬[2]	ストック・オプション (80~90%)	60~80%	• 中長期的な株主価値、企業価値向上への貢献に対するインセンティブ付与
株式報酬[2]	RSUプラン (10~20%)	60~80%	• 株主とのセイム・ボート • 優秀な経営人材のリテンション
金銭報酬	現金賞与	10~20%	• 全社業績 (売上収益、調整後EBITDA、調整後EPS)、企業価値向上への貢献に対するインセンティブ
金銭報酬	基本報酬	10~20%	• 役割と責任に基づく基本報酬

1. 監査等委員である取締役を除く
2. 2023年度、2024年度の株式報酬は不支給

免責事項

本説明会および参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうることをご了承ください。会社の業績に影響を与えうる事項の詳細な記載は「有価証券報告書」の「事業等のリスク」にありますのでご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

LINEヤフー

「WOW」なライフプラットフォームを創り、日常に「！」を届ける。